

おわりに

◆九州などで大きな水害が発生しました。復旧(片付け)には十万人単位の災害ボランティアが必要だと言われています。しかし今回は、新型コロナで他所からのボランティア出動が薄くなる可能性が考えられます。被災県内で、どれだけボランティアが動くかが鍵です。

ボランティア活動は、行きたい気持ちがあっても、腰を上げるきっかけがあるのとないのでは大違いです。

「熊本県はこれまでの経験で、ボランティア活動に対する関心は高いでしょうから、防災関係に限らず、広く市民活動されている団体に、直接の協力呼び掛けをされてはいいかがでしょうか。」

などと、災害ボランティア議員連盟の仲間たちに伝えていきます。

福井の災害ボランティア活動は福祉の枠ではなく、総務部、県民活動担当が所管しており、県民活動団体全体に直接のお呼び掛け、お願いをする仕組みで、社協も連合も青年会議所も強力な仲間だとも紹介。

『協働』が、福井方式の特徴です。

◆片や8日には、日本財団の重機隊が現地入り。そこに全国の重機ボランティア隊が結集します。

福井からも「チームふくい重機隊」メンバーが参加。重機ボラは専門性が必要で、数は限られます(密ではない活動なので全国から結集できます)。今回のような大規模災害では、ボラ活動とはいえ、重機が大きな活躍をします。

そこで、「チームふくいバックアップ組」は、資金確保に尽力中。なにしろ、東北の地震津波災害時には、重機で大活躍された北陸ダンブチームに、資金面でも多大な負担をおかけしていますので…。

私の役割は、県との調整・交渉です。ボランティアは「志願して公共性の高い活動へ参加する人」ですから、基本的には自己責任…とはいえ、大規模災害ではそれだけでは活動に支障が出ます。ですから、三国重油災害のあと、福井県では「福井県災害ボランティア活動基金」が創設されました。それが生きたのは福井豪雨災害時、ボランティアの保険代やボランティアセンターの資機材・運営費などに当てられました。その基金が活用できないか…です。(少しでも出れば助かります)『基金』の仕組みも福井方式です♡

## 細川かをり県政報告

第54号

小暑の候 新型コロナと共存する生活様式にはまだ戸惑いもありますが、身の安全は何物にも代えられないと肝に銘じて過ごすの頃です。

今議会は「コロナ対策の検証や経済対策そして「ウィズコロナコロナと共に」といことでこれまでの施策にコロナ対策を乗せるとどうなるかという議論が大勢を占めました。私は感染された方々のお声から「コロナ対策を質しました。」

## 検証：新型コロナ対策！

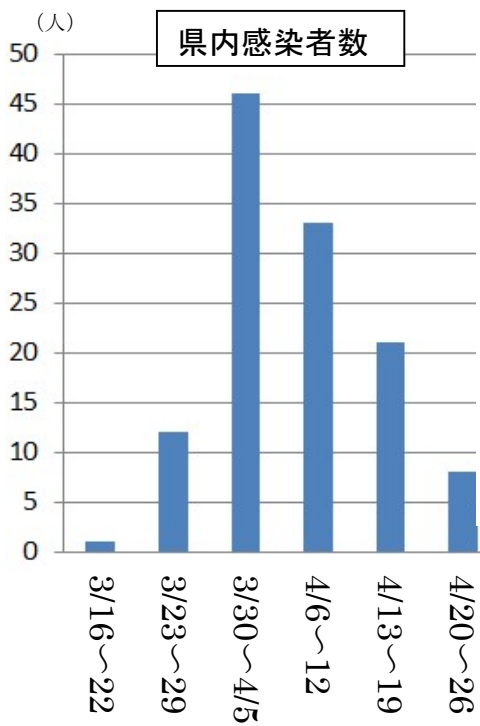
### 感染状況

新型コロナウイルス感染の状況は、

- ①1月、中国から帰国された方がお一人発症
- ②2月上旬、クルーズ船が、「感染者が乗船している」と、横浜港沖で停泊・検査。全員下船まで約1か月間
- ③2月13日、国内初の死者
- \*\*\*\*\*
- ④3月18日、県内で初「陽性検査結果」1名
- ⑤県内では、3月23日から4月27日まで、断続的に「陽性検査結果」の方が出る。⇒
- \*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
となっています。

私は、特に前半の感染対応に疑問を感じていたので、感染した知人達を訪ねてお話を伺いました。



2/14 東京



県発表や報道では知れなかったことがたくさんありました。

◆友人の息子さんが人吉市にいたので心配したのですが、無事どころか、雨が上がりと同時に、近所の泥のついたお宅や神社に、泥かきに行っているとのこと…！

「ちっちゃい頃から、災害ボランティア活動が身近で当たり前だったから。」  
と親御さんはおっしゃいます。

流石、福井っ子！

子どもはよく見えます。新型コロナ禍での大人の言動もだと思えます。こんな時こそ、良き手本を示せたらと思います



👉重機ボランティア百人力！

旧今立町では三重県から駆けつけた重機ボラに粗大ごみ収集も依頼。逆にその秋は福井から三重の水害に駆けつけました👈



細川かをり県政報告 R2.7  
発行：福井県議会議員 細川かをり  
事務所：越前市村国1丁目2-11  
TEL・FAX 42-5888

今年の一月 二月 皆様は、どんな「コロナ対策」をされていましたか？

私は、一月には2度東京 国会議員と話をして、女性県議の研修会に出席したりしました。二月には、全国災害ボランティア議員連盟の研修会を催し、続けてフィンランドの政策研修に参加し、4日間 東京にいました。

その間 国内初の死者が出て、マスク装着率が上がった。帰路の米原駅乗り換えホームで、やはり東京帰りの県内首長さんたちにお会いしたりしたのが印象的でした。

今回感染された方の中には、私などよりずっと意識して「コロナ対策」をされていた方もおられました。

あるいは、地域で活躍されていて付き合いも多く、友達も多く、そこでちゃんと立ち寄ったところ、で感染された方もおられました。

私がうかがう限りでは、善良な市民が、活発な日常生活の中で、人とかかわりのがもたれ、感染されたと思えませんでした。

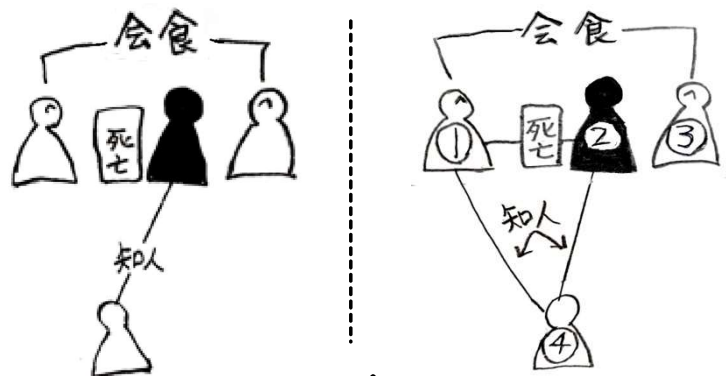
私の方がよほど感染リスク、危険性の高い日々だったのに、『たまたま感染しなかった』は…です。皆様は、いかにとらえておられますでしょうか？

少なくともこの年明けから春までは、多くの県民の方々にも、感染の可能性があったとして「明日は我が身かも…」と感染者の方々の状況に、心をよせて考えていただけたらと思います。



## クラスター図の功罪

例えば・・・



※印象が変わります

※番号は仮のものです

同じ日に会食していても、仕事などで医療機関や検査に至った日が違うと、それがそのまま番号の順となります。

数字が付いたり間違った線引きがついたりすると、あたかも番号の若い方が感染させたかのようにとらえられ、誹謗中傷の的となってしまいます。

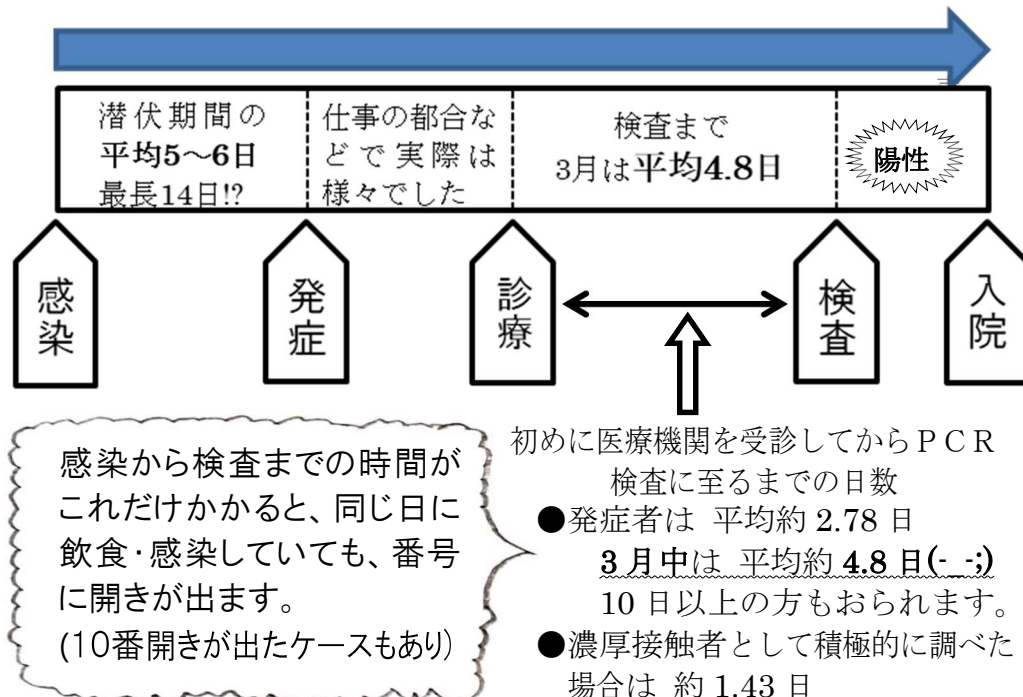
知らない間柄なのに、記者会見で「友人」と言われて、誤解が広がったケースもありました。

## 感染者公表の反省点

**知** 公益性や県民の不安払しょくなどの狭間の中で、毎日、悩みながらやらせていただいていた。その中で、齟齬、誤解が生じて拡散され、患者さんが傷付いた場合には、当然それを訂正していく責務が県にある。訂正までに時間がかかったところも反省している。

**細** 「知人」という間違った線一本で、誹謗中傷が増幅する事態も起きている。県の記者会見での説明が元なのだから、声を大にして訂正し、世間の誤解を消すよう尽力すべきだ。

第2波に向けては、十分に反省をしながら早期に是正すべきはしていく。



感染から検査までの時間がこれだけかかると、同じ日に飲食・感染していても、番号に開きが出ます。(10番開きが出たケースもあり)

最初に医療機関を受診してからPCR検査に至るまでの日数

- 発症者は 平均約2.78日
- 3月中は 平均約4.8日(-;-) 10日以上の方もおられます。
- 濃厚接触者として積極的に調べた場合は 約1.43日

## 検査までの時間

新型コロナウイルスは、無症状の潜伏期間が長く、その間にも感染します。人によって症状の重さも出方も様々です。

国は当初ずっと「37.5度以上の発熱が4日間以上続く」ことを、帰国者・接触者相談センターに相談したり、医療機関を受診したりする際の目安としていました。(国は5月8日にその文言を削除)

福井県でも、当初は「その条件に合わない」という事で、発症してから検査にたどり着くまで、とても時間と手間がかかっていました。(保健所の管轄違いで診断し直しもあり)

## 誹謗・中傷

**細** 誹謗中傷や差別は断じて許されない。できる限りの具体的防止策をとるべきだ。

県の発表する感染者情報には、1例目、2例目と番号がついている。これは陽性が確認された順だが、「感染した順番」と誤解されている。

**知事** 誹謗・中傷について、早い段階から県民の皆さんに訴えて参ったが、非常に多くの方が傷つかれた、そういう現状だ。感染者公表の基準は、国が示す基本方針に則った中で、感染が判明した順番で1例目・2例目と発表していたが、この誤解を早い段階で気付いて、しっかりと注意喚起すべきだったと強く反省している。

人はクラスター図のために興味があった。

検査の順と番号でおかしくなった。

早く検査に入った者が、早く感染したと思われる。

**県** 発生の当初、国の基準に従いタイムラグがあったけれども、我々、「それではいかなんではないか。」ということでも、3月28日から、この日数を取っ払い、検査を行うように対象を拡大した。

保健所の管轄の壁は反省すべきもので、全ての医師が必要と認めた方、接触アプリの通知のあった方は、ただちに検査するという体制で臨む。

**細** PCR検査までに時間がかかりすぎた原因と、今後の方針を伺う。

医療機関で、コロナなのか、ただの肺炎なのか、なかなか言ってもらえなくて不安だった。

陽性反応が出たのに、入院は「2・3日待つて」と言われ、待つ間、ものすごく不安だった。

アビガンの投与の仕方やPCR検査の頻度が他の感染者と違って、それが不安だった。

陰性2度で退院し、自宅で静養期間も持った。それでも人から避けられる。

未だに自宅前を「コロナ通り」「通学路かえろ」と電話がある。

家族もばいきん扱い。勤め先から「帰れ」と言われた。

親戚の会社の従業員までもが取引先から「来るな」と言われた。

発病日を勝手に決められた。かたまりを作らなうための答えありきの感じがした。

相関図、知人でないのに知人だという線引きが入っていた。

2次被害阻止と思つて会社名を公表したが、誹謗中傷の山。信念を持つて発表したことが、ここまでやられるかと愕然とする。

こらし屋扱いで地域の社会奉仕すら出られない。話が歪曲され、なお酷い目にあつたと思つている。家族は分かっている、メンタル・我慢も限界だ。

正直に話し、公表したものが傷ついた。



感染者の方々の声を集めて検証を！

今後の調査や公表に支障が出そうです

クラスター対策は「感染経路をたどり濃厚接触者を特定して自粛してもらう」手法で、これは人の詮索する心理を非常に掻き立てます。特に、詮索心は不安な時に増幅するので、情報の出し方には細心の注意が必要です。

そのうえで

「だれもが感染者になるリスクがある。未知のウイルスに不幸にして感染してしまった方を、皆で支えていくことこそが県民がとるべき行動」

人は人と関わり合つて社会を形成し、国家を形成し、繁栄してきました。でも新型コロナウイルスは、まさにそこを巧妙についてきた感です。人の和を分断する・・・人知を持って、皆で乗り越えましょう！